

部活動などの活躍

《ソフトテニス部》

荒川区夏季総合体育大会

団体戦 第3位

ソフトテニス部 男子・女子

都大会出場!



ソフトテニス部の皆さん

《バスケットボール部》

荒川区夏季総合体育大会

団体戦 第2位

バスケットボール部 女子

ベスト5

〇〇〇〇さん(3-2)



バスケットボール部の皆さん



新しく赴任された先生からのメッセージ!

特別支援教育支援員
浦野 和美先生

皆さんの学校生活がより充実したものになるようにお手伝いしたいと思います。何かあったら、遠慮なく声をかけて下さい。



南千住マイスターのコーナー

南千住の交通と産業 その3 『千住市場と千住ネギ』

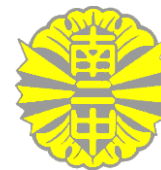
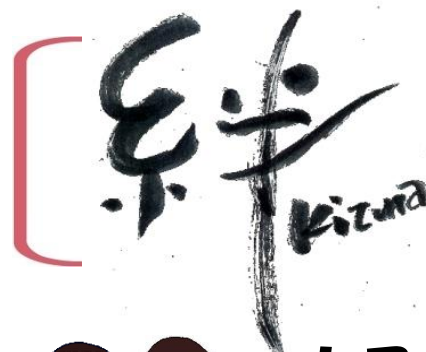
前号で「川越夜船」を紹介しました。千住には各地から産物が集められました。千住の地には330年ほど前から、川魚・青物（野菜）を扱う市場がありました。南千住から見ると千住大橋を渡って北千住に向かう旧日光街道の両側がそれにあたります。通称「ヤッチャ場」と呼ばれていました。市場といっても両側に並ぶ一軒一軒の問屋が市場で、その店先でそれぞれが行われるいわば青空市場でした。せりのかけ声の「ヤッチャ〜」から、ヤッチャ場の名が起ったといわれています。青物・土物問屋が三十数軒あり、夜明け前から大八車や牛車でこった返し出荷の荷の上げ下ろしで渋滞したといわれます。

その中に「ネギ」専門の市場がありました。現在の葛飾区あたりはネギ（長ネギ）の産地でした。そのネギの中でも特に質がよいものが千住に集められました。この事から千住で手に入る良質なネギのことが「千住ネギ」と呼ばれたのです。千住ネギは白い部分の長い、よく見かける長ネギのことです。千住ネギは当たり前に私たちの食卓で見かけます。まさに「千住」の名前は全国区です。現在ではその中でも、甘さ・辛さ・うまさ・太さ・食感の5拍子がそろった極上ものを「千寿ネギ」と呼び、区別されることもあり、高級料理店でも提供されたりします。

江戸時代には、このネギを始めとした様々な生活物資が幕府御用品として江戸城に運ばれていました。昭和に入り、野菜以外の川魚や海産物を扱う市場を統合し、現在の千住橋戸町に東京都中央卸売市場足立市場が開設されました。その後、都市化の進展に伴い、取扱量が増加したこともあって昭和54年9月、青果部門を北足立市場に分離し、現在は水産物専門の市場として開設されています。



全国に知られている千住ネギ



学校だより
令和三年6月
第117号
荒川区立南千住第二中学校



ナンちゃん・ニーくん

レスキュー部、創部10年目を迎えて

校長 松田 公好



「10年ひと昔」の言葉通り、確かに10年という月日が経過すると世の中はずいぶん変わるものだと感じます。同時に10年前のことは昔のこととして忘れ去られることも多いため、大切なことは再確認しておきたいものです。

実は今年度、南二中レスキュー部は創部10年目を迎えます。そこで、本校レスキュー部について、創部から現在までの流れや目的などについて再確認しておきたいと思います。

レスキュー部はちょうど10年前の平成24年6月に創部されました。平成23年に発生した東日本大震災で、被災地の中学生が素晴らしい活躍をして地域に貢献したことを知った前任の齊藤進校長先生が見つけたものです。創部したときの部員数は65名（全校生徒の25%）で、「助けられる人から助ける人」を合言葉に、防災・減災に関する知識や技能を身に付け、防災意識の向上を目指しました。夏休みには学校に泊まる『防災宿泊訓練』を実施し、地域の防災訓練などにも参加しました。

その後、活動の幅は徐々に広がり、充実していきました。災害発生時に支援が必要な地域の高齢者の方と日頃から顔見知りになっておくことを目的に始まった『絆ネットワーク活動』、同じく中学生と園児が触れ合っておくことで災害時の支援をしやすくすることを目的に始めた『園児避難誘導訓練』が定期的な活動に加わりました。



活動内容が充実するとともに、こうした活動がしだいに広く認められるようになり、さまざまなメディアにも取り上げていただきました。その結果、部員数は年々増え続け、最近では毎年全校生徒の7割前後が部員となっています。荒川区や東京都からも防災行事への参加依頼をいただくようになり、多くの防災行事に参加させていただきました。

活動はさらに広がり、地域行事へのボランティア参加や運動会前後に『地域の方々に挨拶やお礼のお手紙をお届けするなど『地域を大切にすること』にも重点が置かれるようになりました。先日の運動会でもこの活動を行い、これに対して「素晴らしい」とお褒めの言葉をくださる方、わざわざお手紙を投函くださった地域の方もいらっしゃいました。

昨年度からコロナ禍のため、従来の活動ができない状況が続きますが、本校レスキュー部が『防災意識の向上』と『地域を大切にすることの育成』を目的に、発展

してきたことを改めて再認識しておきたいと思います。

創部10年目を迎えたということは当時部員だった多くの卒業生たちが成人したことになります。つまりこの南千住には防災知識とスキルを身に付けた防災意識の高い大人、地域を心から愛する大人がたくさんいることになります。そして南二中のレスキュー部が活動を続ける限り、そんな大人が年々増え続けるのです。何と頼もしいことでしょう。

これからも、本校では地域学習やJRC活動と共に、レスキュー部の活動を継続・発展させることにより、『防災意識の向上』と『地域を大切にすることの育成』を目指し、『災害に強いまちづくり』、『住みよいまちづくり』に貢献していきたいと思っています。

1年生 地域学習

5月28日(金)に、1年生の「地域学習」がはじまりました。第1回目となるこの日は、「南千住検定本」の編集や学校だよりのマイスターコーナーの執筆に携わるなど、南千住地域の歴史や史跡に造詣の深い中陳先生に講師をお願いして、南千住第二中学校にまつわる歴史や地域の伝説の学習をクラスごとに分かれて行いました。南千住二中の玄関前にある**火力発電所の史跡を示す看板**の前では、“南二中の校舎は以前この地にあった東京電灯千住発電所からデザインを取り入れている”などの説明がありました。

1階ホールにある火力発電所やスカイツリーの模型の前では、「おぼけ煙突と呼ばれた千住火力発電所や日本初の毛織物工場の千住製絨所」などの話を聞きました。そして**片目の大緋鯉、千住大橋の大亀、牧の野の大蛇の御輿**などを回り、隅田川にまつわる妖怪伝説についての話を聞きました。最後に、1階ホールの床に設置された**南千住地域の明治時代の古地図**を見学。これは、模型につけられた番号と地図上の番号が連動しており、校舎の場所に以前あった火力発電所や千住大橋の位置や方向が示されています。ここでは、地図を囲んで一人一人が南千住の今昔を比較し、地域の発展について学びました。南千住地域の歴史や地域に伝わる伝承の数々に1年生は興味津々で、自分が生まれ育った街についての学習にたいへん楽しく取り組みました。



中陳先生の話を中心に
聞く1年生の皆さん

南千住二中にまつわる歴史や地域の伝説から
地域学習スタート!



6月11日(金)の総合の時間には、地域学習の2回目として、南千住の白地図の上に史跡や文化財を示すシールを貼る「**地図で探そう**」を実施しました。班ごとに南千住地域周辺にある約40ヵ所の史跡・文化財の場所を探しました。南千住検定本で調べたり、班員で一緒に考えたり話し合うなどして皆で力を合わせて取り組みました。地図が完成すると、南千住地域は古くから江戸の玄関口として栄え、その様子を後世に伝える多くの史跡に恵まれていることがわかります。

今後も南千住地域の史跡や神社・仏閣などを実際に見学する校外学習などが予定されており、南二中の伝統である「**南千住の歴史を語る南二中学生**」を目指して地域学習を頑張っています。

2回目は、**史跡・文化財の場所を探して、白地図にシールを貼りました。**

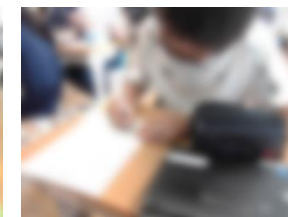
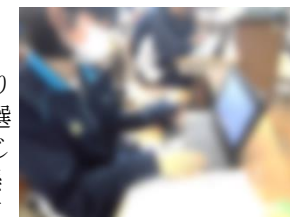
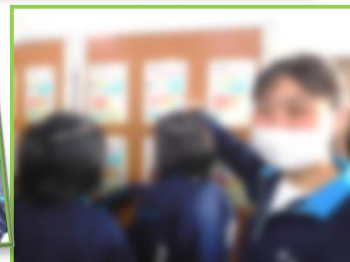


2年生 校内勤労体験

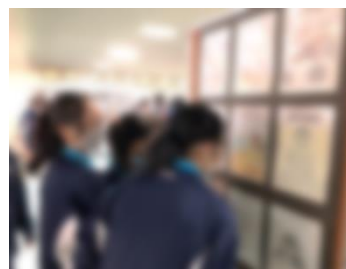
毎年7月に行われていた2年生の勤労留学が今年度は感染症対策のため校外の企業や店舗での仕事体験が中止となりました。しかし、将来の進路に向けて考える機会として、また、社会的常識やマナーを学ぶ機会としても、2年生の勤労体験はとも意義深いこと。そこで、**校内で仕事に関する活動を行ってもらい、仕事の喜びややりがい、厳しさや責任感などを学ぶための「校内勤労体験」を実施**することになりました。

職種は、新聞記者、作家、デザイナー、漫画家、教師、栄養士、教材編集者、保育士、看護師、図書館司書、介護福祉士、農家、警察官、ツアーコンダクター、ゲームクリエイターの15種。5月26日(金)には求人票が貼り出され、クラスごとに見学を行いました。仕事を選んだら、面接を受けるための履歴書を作成。はじめて書く自己PRなどに皆苦戦しながらも一生懸命取り組みました。面接練習や希望の職種の面接官との面接の実施を経て、6月28日(月)に採用が決まりました。7月10日(土)の完成を目指して、それぞれの職種で決められたテーマの作品や掲示物の作成を進めています。

全15種の職業の
求人票に集まる
2年生の皆さん。
早速はじめての履歴
書を書いて応募!



3年生 修学旅行のしおり扉絵



左から、〇〇〇〇さん(2組)、
〇〇〇〇〇さん(2組)、〇〇
〇〇さん(4組)の作品。

優秀賞3作品

6月に予定されていた修学旅行が緊急事態宣言の延長により、3月に延期が予定されています。3年生は修学旅行に向けて様々な準備を進めていたため、落胆することもあったようですが、気持ちを切り替えて、進路に向けて全員の希望が叶うことを心に誓い、授業に日々の生活に最後の部活動に全力で取り組んでいます。

5月28日(金)には、「**修学旅行のしおり表紙展覧会**」が3学年のフロアで開催され、投票で優秀作品3点が選出されました。素晴らしい作品の数々に教職員からは感嘆の声が上がっていました。

